

イチゴ栽培 始めました

3月16日から17日にかけて、ついにイチゴの苗を植えました。
今回の特集では、育てるイチゴの特徴などをご紹介します。

(株)イチゴテック
代表取締役 みやざき だいすけ 宮崎 大輔

信州大学大学院修士課程修了後、
青年海外協力隊での活動を経て、
農業コンサルとして独立。2019年
に(株)イチゴテックを設立。

イチゴの栽培には、イチゴの専門家である
宮崎氏にアドバイスをいただいています。
今回の定植作業にもお越しいただきました。

専門家の声 /

日本で一般的に流通
している農作物の中でもっとも価
格の高い夏秋イチゴを、夏が涼しく日
本で最も栽培に適した猿払村で栽培す
れば、品質、収量ともに非常に良い
ものが期待できます。



信大BS8-9と同じ、
2011年に品種登録されたイチ
ゴです。最大の特徴は香りにあ
り、名は体を表すという言葉のと
おり、桃のような芳醇な香りのす
るイチゴです。香りは、人が食べ
物を食べた際に感じる味に大きな
影響を与えます。そのため、特徴
的な香りを持つ桃薫は、食べた際
に感じる味のインパクトも期待で
きます。

さるふつイチゴ No.3 とうくん 桃薫

定植数	288株
甘さ	★★★★☆
香り	★★★★★

桃の香りの珍しいイチゴ。果皮は桃色で果肉は中心まで真っ白。



さるふつイチゴ No.1 しんだい 信大 BS 8-9

定植数	960株
甘さ	★★★★☆
流通性	★★★★☆

イチゴっぽくない名前をしている。夏イチゴの中では甘い方。



2011年に登録された品種で
す。夏の高温期でも高い糖度が保
てることや、果実が比較的固いた
め輸送にも耐えられることが特徴
です。これらの特徴は、イチゴの
販売を考えたときに大きなメリッ
トとなります。
また、イチゴの表面が赤くなら
ない、新芽がでてこないといっ
た、イチゴを育てる上で問題とな
る病気が発生しにくいという特徴
もあり、生産性の面から大きなメ
リットとなります。

ももいろほっぺ8号という品種
名で2018年に登録された品種
です。特徴はその色にあります。
多くの人が思い浮かべるイチゴは
赤い色をしていると思いますが、
エンジェルエイトは白ベースの色
をしています。
多くのイチゴは、偽果部分が赤
い色をしていると思いますが、エ
ンジェルエイトは偽果が白く、果
実が赤い色をしています。そのた
め、視覚的なインパクトが大きい
品種であるといえます。

さるふつイチゴ No.4 エンジェルエイト

定植数	272株
甘さ	★★★★☆
見た目	★★★★★

果皮も果肉も白くふっくらと丸みのある可愛い形の珍しいイチゴ。



さるふつイチゴ No.2 すずあかね

定植数	400株
甘さ	★★★★☆
育ち	★★★★★

育てやすく収穫量が多い。酸味が強め。お菓子の材料にぴったり。



北海道で生まれた品種で、
2010年に品種登録されまし
た。一粒が大きく収穫量が多くな
りやすいことや形状が安定しやす
く規格にあった実がなりやすいこ
とが特徴です。
また、葉の展開が遅く、ランナー
の発生も少ないことや、葉数が少
ないといった特徴があり、管理に
かかる労力が比較的少ないとい
えます。
ランナー：イチゴの株から伸びる茎のよ
うなもの。先端から新しい子株ができる。

定植の様子

人手不足に悩む事業所や自治体へ
行き、お手伝いをしながら旅行が
できるマッチングサイト「おてつ
たび」をとおして、道外から大学
生2名に定植作業を手伝っていただ
きました。



イチゴの果実はどこ？

実は、表面にたくさんあるツブツブは種ではなく果実です。それぞれのツブツブの中に種が入っています。イチゴの果実は、一粒に200から300個の果実が集まった集合果と呼ばれるものです。普段果実だと思っている部分は、茎の先端が膨らんだところで、「偽果」と呼ばれています。



事業の目指すもの

施設園芸栽培調査研究事業では、野菜とイチゴの栽培をワンサイクルとし、よりおいしいものを、より省労力で栽培することをコンセプトに、このサイクルを3回繰り返し続けます。そして、この間に得られた知見をもとに、猿払村の環境に最適化されたマニュアルの作成を目指します。